



EZ-TF



取扱説明書

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの
(PA-3C) を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。



禁止

電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードに重いものが破損し、感電や火災の原因になります。

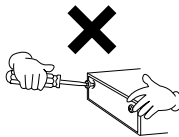
分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

感電や火災、または故障の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



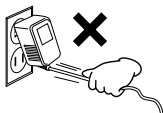
本体の上へろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

注意

電源 / 電源アダプター



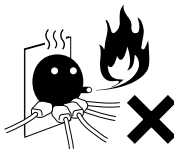
電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



乾電池



乾電池はすべて+ / -の極性表示どおりに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。
発熱、火災、液漏れの原因になります。



乾電池を分解したり、火の中に入れたりしない。
乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れると破裂するおそれがあります。

異常に気づいたら



必ず実行

電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。（乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。）

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

使い切りタイプの乾電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。
乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



禁止

乾電池は子供の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。
失明や化学やけどなどのおそれがあります。

設置



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話などの電気製品の近くで使用しない。
楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方が転倒したりするおそれがあります。

接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。
本体が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

使用時の注意



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

本体のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態（電源スイッチが「STANDBY」の状態）でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

この取扱説明書に掲載されているイラストはすべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

この製品は、ヤマハ（株）が著作権を有する著作物やヤマハ（株）が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVE データ、音声記録データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ（株）の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

- ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
本体が変色 / 変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様や他の方々へのけがをきたす原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



データの保存

データの保存とバックアップ



必ず実行

コンピューターから読み込んだソングデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、コンピューター側に保存してください。
(30 ページ参照)

ごあいさつ

このたびはヤマハ EZ-TPをお買いもとめいただき、
まことにありがとうございます。

EZ-TPのさまざまな機能を十分に活用するために、
この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。
なお、読み終わったあとも、不明な点が生じた場合に備えて、
保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

もくじ

演奏の準備.....6	バックアップデータと初期化の方法.....26
電源の準備.....6	バックアップデータ.....26
接続.....7	初期化の方法.....26
付属品.....7	MIDI機器の接続.....27
各部の名称.....8	MIDIって何？.....27
EZ-TPの持ち方.....10	MIDIでできること.....27
演奏してみよう.....11	コンピューターと接続してみよう.....28
歌って演奏してみよう.....11	EZ-TPにソングを読み込む.....29
指づかい表.....12	送信チャンネルを設定する.....31
自分の声の高さに合わせて設定しよう.....14	ローカルコントロール オン/オフを 設定する.....31
マイクボリュームを調節してみよう.....15	楽器のお手入れ.....32
サウンドを変えてみよう.....16	故障かな？と思ったら.....33
自分の演奏音のキーを変えてみよう.....17	メッセージリスト.....34
バルブを使わずに歌声だけで 演奏してみよう.....18	サウンドリスト.....35
チューニングしてみよう.....19	MIDIインプリメンテーションチャート.....36
音に厚みをつけてみよう.....19	MIDIデータフォーマット.....38
ソングを聞いてみよう.....20	仕様一覧.....39
ソングのスタート方法.....20	保証とアフターサービス.....40
好みのソングを選んで聞いてみよう.....20	
伴奏に合わせて演奏しよう.....22	
歌って演奏しよう — プレイモード1.....22	
光るバルブを押さえて演奏しよう！ — プレイモード2.....23	
歌いながら、バルブも押さえて 演奏しよう — プレイモード3.....23	
ソングのテンポを変えてみよう.....24	
ソングの音の高さ(キー)を 変えてみよう.....24	
音量バランスを変えてみよう.....24	
ペロシティカーブの選択.....25	

演奏の準備

電源の準備

EZ-TPは電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には付属の電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

■家庭用コンセントから電源をとるときは

- ① 本体の電源スイッチが切れている(スタンバイになっている) ことを確認してください。



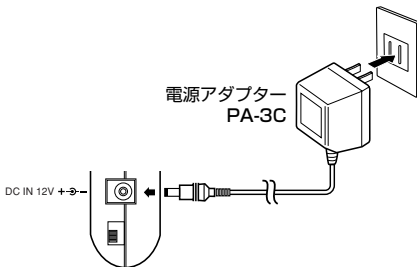
・電源アダプターをご使用になる場合は、付属のアダプターPA-3Cをご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

- ② アダプターのDCプラグを電源アダプター(DC IN 12V) 端子にさし込みます。

- ③ アダプターのACプラグを家庭用(AC100V) コンセントにさし込みます。



・使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

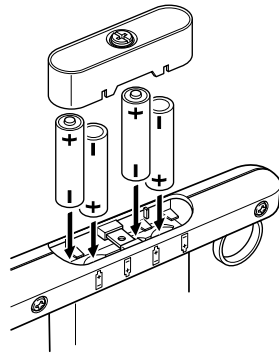


■乾電池を使うときは

- ① EZ-TPを柔らかい布などの上に置き、コインを使用して電池ぶたをはずします。
- ② 市販の乾電池(単3乾電池)を4本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。アルカリ電池の使用をおすすめします。
- ③ 電池ぶたを閉めます。

NOTE

・乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。



乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。



・乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。



・乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)と一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。



・長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

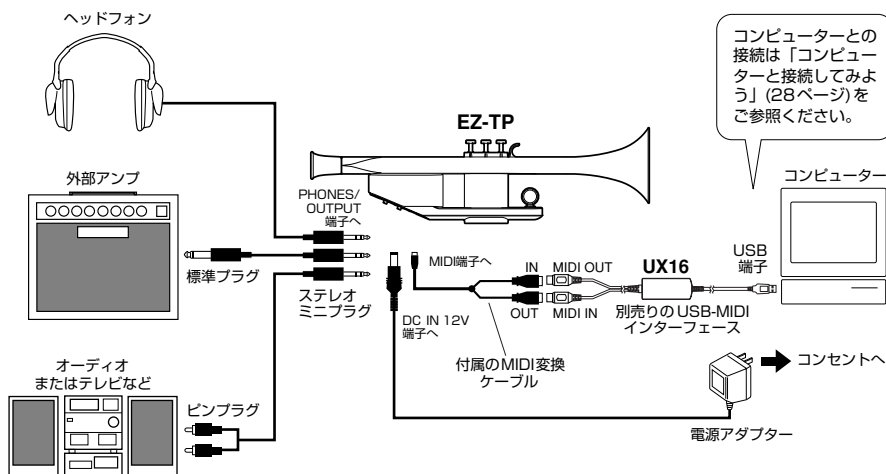


・ソングファイラーを使用してソングデータを読み込むときは、アダプターを使用してください。電池で使用しているとき、ソングファイラーは機能しません。

接続



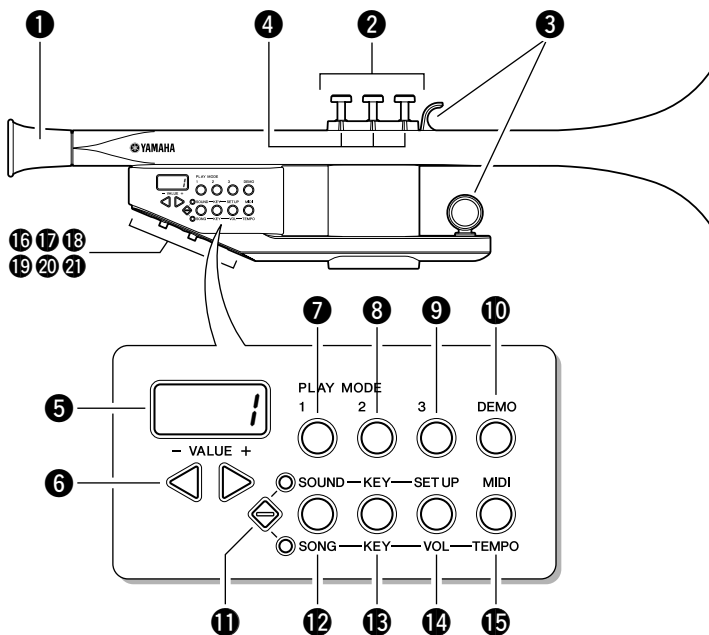
- ・EZ-TPを外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷の恐れがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。
- ・電源アダプターを抜き挿しするときや乾電池を入れ換えるときは、EZ-TPの電源スイッチをスタンバイ側にした状態でおこなってください。PHONES/OUTPUT端子に接続している機器を損傷するおそれがあります。



付属品

電源アダプター、MIDI変換ケーブル、ソングブック、保証書

各部の名称



① マウスピース

唇をあてて歌います。

② バルブ1～3

バルブを押さえると、いろいろな高さの音が出ます。(12ページ参照)

③ フィンガーフック

トランペットを持つときに、小指や薬指をかけます。(10ページ参照)

④ ガイドランプ

赤く光って、押さえるバルブを教えてください。ソングの拍子や、メロディのタイミングで光らせることもできます。(23ページ参照)

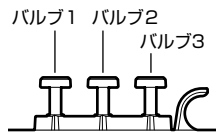
⑤ ディスプレイ

サウンド、ソングの番号、設定値などを表示します。

⑥ [-]、[+]ボタン

設定値を選ぶときや、サウンド番号、ソング番号を選ぶとき使用します。

選んでいる機能によっては[-]と[+]を同時に押すと初期設定値に戻ります。



7 ^{プレイモード} PLAY MODE [1] ボタン

ソングに合わせて歌うと、トランペットの音が出ます。(22ページ参照)

8 ^{プレイモード} PLAY MODE [2] ボタン

光ったバルブを押さえるだけで、ソングのメロディが演奏できます。(23ページ参照)

9 ^{プレイモード} PLAY MODE [3] ボタン

ソングに合わせて歌いながら、バルブも押さえて演奏します。(23ページ参照)

10 ^{デモ} [DEMO] ボタン

ソングをスタート/ストップさせます。(20ページ参照)

11 (切り替え) ボタン

押すたびに隣の4つのボタン(12～15)の上側の機能と下側の機能が切り替わります。上側のランプを点灯させると、ボタンの上側の機能が有効になり、下側のランプを点灯させると、ボタンの下側の機能が有効になります。

12～15のボタン名は、それぞれ有効になった側の機能名で記載しています。

例) [SOUND]/[SONG] ボタン

上側点灯時 → [SOUND] ボタン

下側点灯時 → [SONG] ボタン

12 ^{サウンド} ^{ソング} [SOUND]/[SONG] ボタン

サウンドやソングを選ぶとき押します。(16、20ページ参照)

13 ^{キー} [KEY] ボタン

音の高さを変えたいとき押します。

上側のランプが点灯しているときは、自分の演奏音の高さ(キー)を設定できます。(17ページ参照)

下側のランプが点灯しているときは、ソングの音の高さを設定できます。(24ページ参照)

14 ^{セットアップ} ^{ボリューム} [SET UP]/[VOL] ボタン

上側のランプが点灯しているとき、楽器に関する設定を行ないます。(14ページ参照)

下側のランプが点灯しているときは、ソングの音量を変えて自分で演奏する音とのバランスを設定できます。(24ページ参照)

15 ^{ミディ} ^{テンポ} [MIDI]/[TEMPO] ボタン

上側のランプが点灯しているとき、MIDIに関する設定を行ないます。(31ページ参照)

下側のランプが点灯しているときは、ソングのテンポを設定できます。(24ページ参照)

マイク ボリューム
16 MIC VOL ツマミ

声の大きさに合わせてマイクの感度を調節します。(15 ページ参照)

ミディ
17 MIDI 端子

付属の MIDI 変換ケーブルと別売りの USB-MIDI インターフェースや別売りの MIDI ケーブルを使って、他の MIDI 機器やコンピュータと MIDI データを通信することができます。(27 ページ参照)

マスター ボリューム
18 MASTER VOL ツマミ

全体音量を調節します。(11 ページ参照)

フォーンズ / アウトプット
19 PHONES/OUTPUT 端子

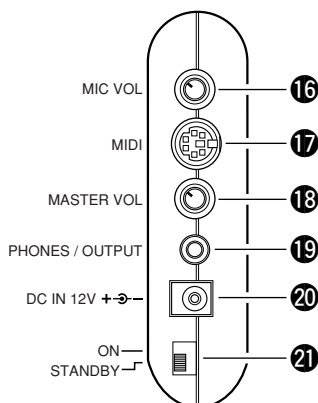
EZ-TP の音をヘッドフォン、オーディオ、外部アンプに出力することができます。(7 ページ参照)

ディーシー イン
20 DC IN 12V 端子

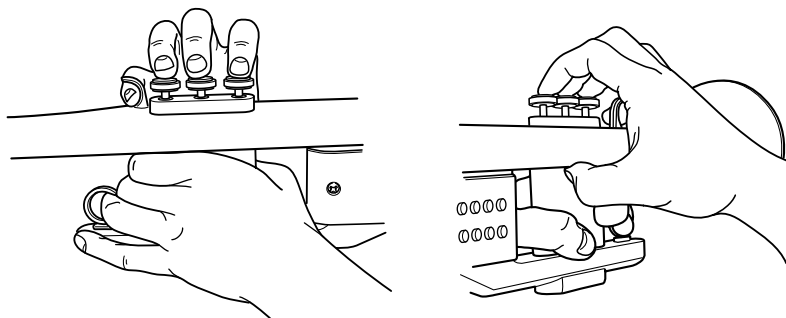
付属の電源アダプター (PA-3C) を接続します。(6 ページ参照)

スタンバイ / オン
21 STANDBY/ON スイッチ

電源スイッチです。(11 ページ参照)



EZ-TP の持ち方



左手でバルブケースの真中を図のように持ちます。

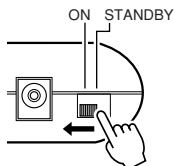
右手の人差し指を第1バルブに、中指を第2バルブに、薬指を第3バルブにのせます。親指は第1バルブと第2バルブの下側に添え、小指はフィンガーフックにかけます。

演奏してみよう

準備ができれば、電源を入れて演奏してみましょう。

歌って演奏してみよう

1 電源を入れます。

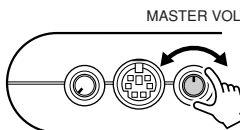


電源スイッチをON方向に動かすと電源が入り、STANDBY方向に動かすと電源を切ることができます。

2 マウスピースに口を密着させ、「ア〜」、「タ〜」などと声を出します。 トランペットの音が出ます。

⇒「自分の声の高さに合わせて設定しよう」14ページをご覧ください。

3 全体音量を調節します。



ツマミを右へ回すと音が大きくなり、左へ回すと音が小さくなります。

4 演奏したいメロディを「ア〜」と歌いながら、声の高さに合ったバルブを押さえます。

バルブの押さえ方は、12ページの指づかい表をご覧ください。

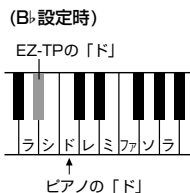
NOTE ・バルブを押さえず歌うと、特定の「倍音」しか鳴りません。(13ページ参照)

●歌うときの声の高さについて

EZ-TPは一般のトランペットと同じB♭のキーに設定されています。(17ページ参照)

そのためEZ-TPでドの音を鳴らすと、ピアノのシ♭にあたる高さの音が鳴ります。キーがB♭のときは、ピアノのシ♭の音を基準(ド)にして歌います。

EZ-TPには、基準の音(ド)を鳴らして、音の高さを確認できる機能があります。操作方法は18ページ『B♭、C、E♭、F — 音の高さを確かめよう』をご参照ください。

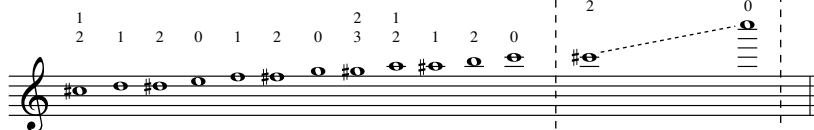
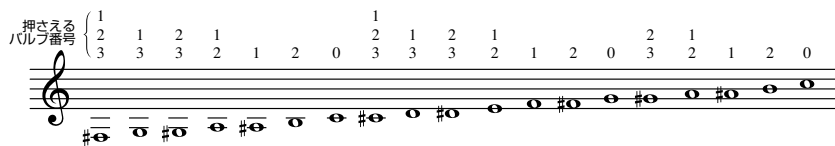


指づかい表

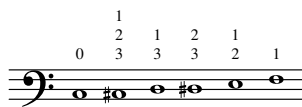
演奏したいメロディを歌いながらバルブを押さえます。

※指づかい表内の数字は押さえるバルブ番号です。0の場合はバルブを押さえません。(8ページ参照)

●音階

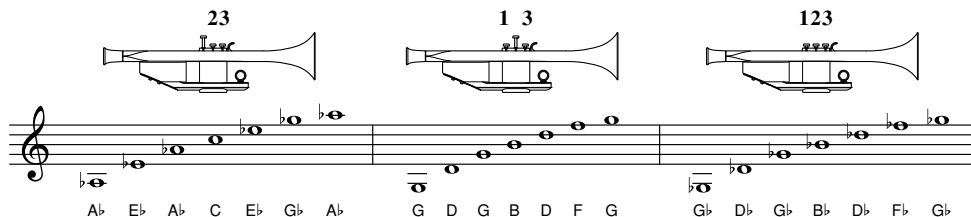
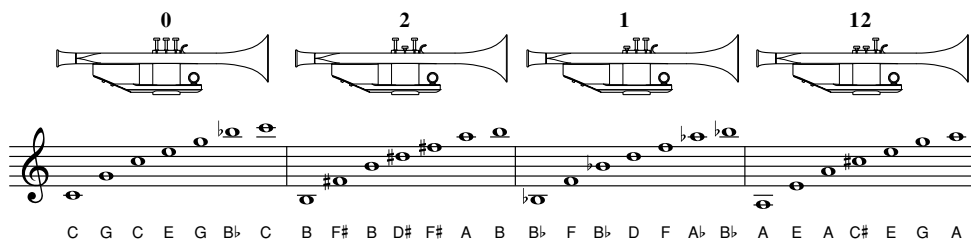


以下の音階は実際のトランペットにはない音階ですが、EZ-TPでは機能します。



この間の指づかいは1
オクターブ下と同じ指
づかいになります。

●倍音表



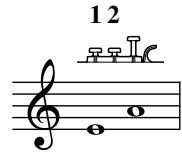
※実際に鳴る音の高さは、キー設定(17ページ)によって異なります。

●倍音について

前ページの「音階」を見てください。たとえばミとラを出すために押さえるバルブは、同じ**1、2**ですね。

このようにトランペットでは、バルブの押さえ方を変えなくても、ちがう音を出すことができます。これを「倍音」といいます。

通常のトランペットでは、吹くときの「唇の形」で倍音を吹き分けますが、EZ-TPでは、あなたが出した「声の高さ」にもっとも近い倍音が出ます。



●EZ-TPの音の高さについて

EZ-TPのキーの初期設定は、トランペットで一番多く使われているB♭です。この設定のまま、EZ-TPで下の譜例1を演奏すると、実際に鳴る音の高さは譜例2(ピアノ譜)のようになります。

●トランペット

譜例1

バルブ番号 { 0 1/3 1/2 1 0 1/2 2 0 }

●ピアノ

譜例2

●歌うときの声の高さについて

EZ-TPのキーの初期設定はB♭です。この設定で歌うときはB♭を基準にします。たとえば譜例1の、点線で囲まれた音符を演奏するには、ピアノのシ♭の高さで「ア〜」と声を出します。音の高さを確認したいときは18ページ「B♭、C、E♭、F — 音の高さを確かめよう」をご覧ください。

●指づかいについて

指を使わずに歌声だけで演奏できる機能もあります。詳しい説明は18ページ「バルブを使わずに歌声だけで演奏してみよう」をご参照ください。

自分の声の高さに合わせて設定しよう

自分の声の高さに合わせて0か1に設定します。

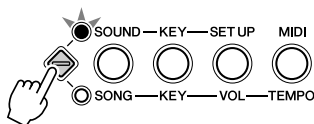
一般に女性と男性では、声の高さが1オクターブほどちがいます。

そのため設定が合っていない状態で歌うと、出る音が高すぎたり、低すぎたりしますので、演奏する人の声の高さに合わせて設定します。

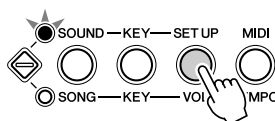
声の高い人(一般に女性やお子さま)は1に、声の低い人(一般に男性)は0に設定します。

EZ-TPの初期設定は0です。

1 設定ボタンを押して、上側のランプを点灯させます。



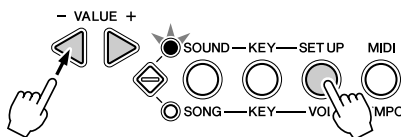
2 [SET UP]ボタンを押して点灯させます。



3 [SET UP]ボタンを押しながら、[-]、[+]ボタンを押して0か1に設定します。

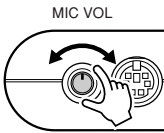
設定は電源を切っても保存されます。

ソング再生中にも設定できますが、その場合、設定値は保存されません。



マイクボリュームを調節してみよう

●マイクボリュームの調節



声の大きさに合わせてマイクの感度を調節します。つまみを右側に回すと小さな声でも、音が出やすくなります。つまみを左に回すにつれて、声を大きくしなければ音が出にくくなります。

周囲の雑音によって音が鳴ってしまうようなときは、つまみを左側に回します。

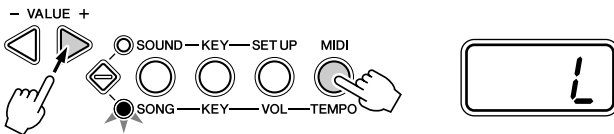
●調節の目安がわからないときは…

以下の操作でつまみを最適な位置に合わせます。

1 ◀ ボタンを押して、下側のランプを点灯させます。

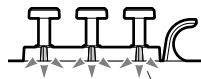
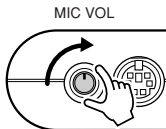
2 [TEMPO] ボタンを押して点灯させます。

3 [TEMPO] ボタンを押しながら、「L」が表示されるまで、[+] ボタンを押し続けます。



4 マイクボリュームのつまみを左側に回し、最小に絞っておきます。

5 マウスピースに口を密着させ、演奏するときの一番大きな声を出します。その声量を保ったまま、マイクボリュームのつまみを右側に回していき、バルブ3が点灯した時点でつまみを離します。これが最適な位置です。



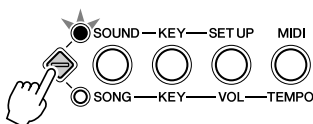
バルブ3が点灯→最適

6 調節が終わったら、23ページの「ガイドランプの光り方をえらぶ」の手順1～3を行ないます。手順3で「Aut」を選ぶと、伴奏に合わせて演奏するとき、ガイドランプがバルブの押さえ方などを表示します。

サウンドを変えてみよう

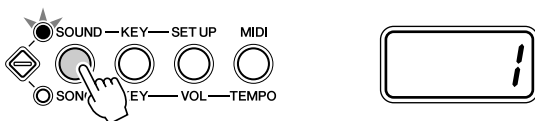
EZ-TPには、22種類のサウンドが入っています。トランペット以外のサウンドに変えて演奏してみましょう。

1  ボタンを押して、上側のランプを点灯させます。

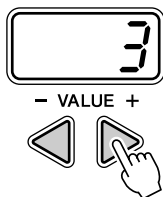


2 [SOUND]ボタンを押します。

現在選ばれているサウンドの番号が表示されます。



3 [-]、[+]ボタンを押して、演奏したいサウンドの番号を選びます。



[-]、[+]ボタンを同時に押すと、初期設定のサウンド、スイートトランペットに戻ります。

●サウンドリスト

サウンド番号	サウンド名
1	スイートトランペット
2	ハードトランペット
3	ソフトトランペット
4	トランペット
5	スイートミュートトランペット
6	ミュートトランペット
7	シンセトランペット
8	ブラスセクション
9	トランペットブラス
10	トランペットとサクソファンサンプル
11	ミュートトランペットアンサンプル

サウンド番号	サウンド名
12	トロンボーン
13	ホルン
14	チューバ
15	スイートソプラノサクソ
16	フルート
17	クラリネット
18	バンフルート
19	尺八
20	ヒューマンボイス
21	ストリングス
22	オーボエ

自分の演奏音のキーを変えてみよう

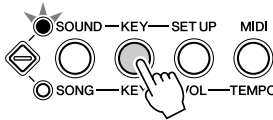
EZ-TPのキーは、トランペットで一番多く使われているB \flat に設定されています。たとえばこのまま、「ド」=Cを基準にかかっているピアノの譜面をEZ-TPで演奏すると音がずれてしまいます。そんなときは、EZ-TPのキーをCに変更すると、譜面どおりの音の高さで演奏できるようになります。

EZ-TPではキーをB \flat 、C、E \flat 、F、Fr1、Fr2の6つに変更できます。

NOTE ・ソングのキーを変更するときは、24ページをご参照ください。

1  ボタンを押して、上側のランプを点灯させます。

2 [KEY]ボタンを押します。



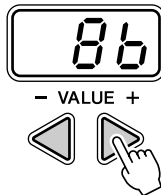
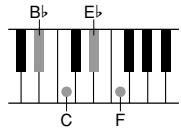
3 [-]、[+]ボタンを押して、キーを選びます。

キーを変えたら、出る音の高さが変わりますので、歌うときの声の高さも変えてください。たとえばキーを「F」に変えた場合、イラストの音を演奏するためには、歌うときの声の高さを、ピアノの音の「ファ」に変える必要があります。基準の音の高さを確認する方法は、「B \flat 、C、E \flat 、F — 音の高さを確かめよう」(18ページ)をご参照ください。



設定後のEZ-TPの「ド」の音は以下のように変わります。

「B \flat 」: イラストの「シ \flat 」の鍵盤の音の高さがEZ-TPの「ド」になります
「C」: イラストの「ド」の鍵盤の音の高さがEZ-TPの「ド」になります
「E \flat 」: イラストの「ミ \flat 」の鍵盤の音の高さがEZ-TPの「ド」になります
「F」: イラストの「ファ」の鍵盤の音の高さがEZ-TPの「ド」になります



B \flat 、C、E \flat 、F、Fr1、Fr2

キーを変更したい
ときに選びます
(18ページ参照)

声だけで演奏したい
ときに選びます
(18ページ参照)

[-]、[+]ボタンを同時に押すと、キーはB \flat に戻ります。

B \flat 、C、E \flat 、Fの設定は電源を切っても保存されます。ソング再生中にも設定できますが、その場合、設定値は保存されません。

●B \flat 、C、E \flat 、F — 音の高さを確かめよう

キーによって、基準の音(ド)の高さは異なります。歌って演奏する前に、以下の操作で音を鳴らして音の高さを確かめられます。

1  ボタンを押して、上側のランプを点灯させます。

2 [KEY] ボタンを押して点灯させます。

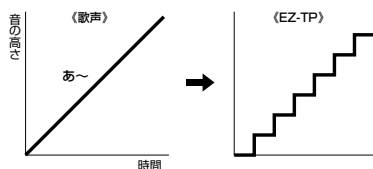
3 「ド」を鳴らす場合..... [KEY] ボタンを押しながら PLAY MODE [1] ボタンを押します。

「ドレミファソラシド」を鳴らす場合.... [KEY] ボタンを押しながら [DEMO] ボタンを押します。

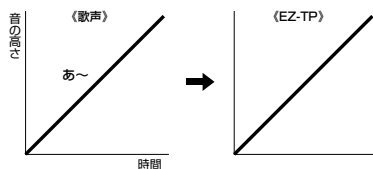
バルブを使わずに歌声だけで演奏してみよう

17ページ手順3で設定できる項目のうち、Fr1、Fr2は声だけで演奏したいときに設定します。バルブを押さえる必要はありません。

Fr1： 歌声を半音単位で音階に変えます。




Fr2： 歌ったとおりの高さで音が出ます。ピアノでいうと鍵盤にないような微妙な音の高さも表現できるので、グリッサンドの多い演奏をしたいときに設定します。



Fr1、Fr2の設定は電源を切ると初期設定のB \flat に戻ります。

●検出時間を設定する

Fr1、Fr2に設定したときなど、まれに歌った音の高さとまったくちがう、外れた音が出る場合があります。そんなときは、歌声がトランペットの音になって出るまでの検出時間を長めに設定すると、外れにくくなります。


- 1**  ボタンを押して、上側のランプを点灯させます。
- 2** [KEY] ボタンを押して点灯させます。
- 3** [KEY] ボタンを押しながら、[-]、[+] ボタンを押して検出時間を設定します。

設定は1～3です。

3に設定すると、外れた音は出にくくなりますが、歌ってからトランペットの音が出るまで時間がかかります。

チューニングしてみよう


A = 425Hz～453Hzのあいだで、1Hz単位で自分の演奏音のピッチ調整ができます。ほかの楽器と一緒に演奏するときは、演奏音のピッチを合わせましょう。

- 1**  ボタンを押して、下側のランプを点灯させます。
- 2** [KEY] ボタンを押して点灯させます。
- 3** [KEY] ボタンを押しながら、[-]、[+] ボタンを押してピッチを設定します。

初期設定値はA = 440Hzです。

音に厚みをつけてみよう

演奏音に1オクターブ上、または1オクターブ下の音を同時に鳴らして、ブラスセクションのような迫力のある音を出します。

- 1**  ボタンを押して、上側のランプを点灯させます。
- 2** [SOUND] ボタンを押して点灯させます。
- 3** [SOUND] ボタンを押しながら、[-]、[+] ボタンを押して-1、off、1を選びます。
-1に設定すると1オクターブ下の音、1に設定すると1オクターブ上の音が演奏音に加わります。

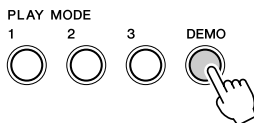
ソングを聞いてみよう

EZ-TPにはトランペット演奏に向けたソングがあらかじめ21曲内蔵されています。このソングを伴奏にして、トランペット演奏することができます。その方法は22ページで説明していますので、ここでは好きなソングの選び方と鳴らし方を覚えましょう。

内蔵ソング以外に、インターネットなどからコンピューターにダウンロードしたソングをEZ-TP本体に、読み込んで鳴らすこともできます。ダウンロードについては、27ページ『MIDI機器の接続』をご参照ください。

ソングのスタート方法

1 [DEMO] ボタンを押します。



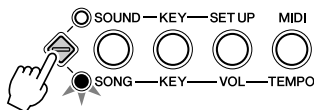
現在選ばれているソングが繰り返し再生します。

内蔵曲すべてを順番に聞くには[SOUND]/[SONG] ボタンを押しながら [DEMO] ボタンを押します。

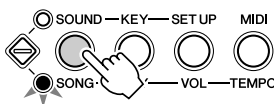
2 もう一度[DEMO] ボタンを押すと、ソングはストップします。

好みのソングを選んで聞いてみよう

1 ◀ ボタンを押して、下側のランプを点灯させます。

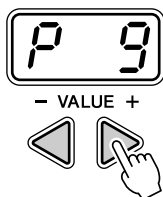


2 [SONG] ボタンを押します。



3 [-]、[+]ボタンを押して、聞きたいソングの番号を選びます。

ソングは下記のソングリストから選びます。

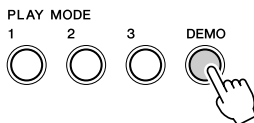


NOTE

・コンピュータから読み込んだソングは、内蔵ソングの前(P 1の前)に入り、F 1、F 2、...と表示されます。内蔵ソングと同様に、[-]、[+]ボタンで番号を選ぶことができます。

4 [DEMO]ボタンを押します。

ソングがスタートします。



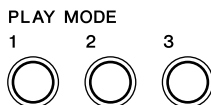
5 もう一度[DEMO]ボタンを押すと、ソングはストップします。

●ソングリスト

ソング番号	ジャンル	ソング名	ソング番号	ジャンル	ソング名
P 1	TV、ラジオ、映画	ビターズウィート・サンバ (オールナイトニッポン)	P14	クラシック	凱旋の合唱/歌劇「アイーダ」より
P 2		フライデーナイト・ファンタジー / 金曜ロードショーテーマ	P15		神の御子は今宵しも
P 3		水曜日の夜(水曜ロードショー)	P16		ブロムナード/組曲「展覧会の絵」より
P 4		ロッキーのテーマ	P17		交響曲第9番「新世界より」第4楽章
P 5		スター・トレックのテーマ	P18	イントロ	宇宙戦艦ヤマト
P 6		レイダース/失われたアーク〈聖櫃〉	P19		愛するデューク
P 7		ハトと少年/天空の城ラピュタより	P20	その他	はぐれ刑事純情派メインタイトル
P 8	ジャズ、洋楽	枯葉	P21		G1競走ファンファーレ (東京・中山)
P 9		聖者の行進			
P10		夜空のトランペット			
P11		スパニッシュ・フリー			
P12		悲しき闘牛			
P13		ソウル・マン			

*ソングの一部には、この楽器で演奏できない部分があります。

伴奏に合わせて演奏しよう



ソングを選んで上のボタンを押しましょう。

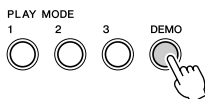
メロディ抜きでソングがスタートしますので、それを伴奏に、あなたがメロディを演奏してください！

押さえるバルブを光で教えてくれるユニークな機能もあります。

コンピューターからダウンロードしたSMFフォーマット0のソングでも同じことができます。

●お手本を聞こう

はじめて演奏するソングは、どんなメロディか確認しましょう。
ソングを選んで、[DEMO] ボタンを押します。

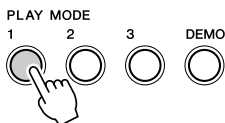


トランペットパートのメロディをじっくり聞こう！

歌って演奏しよう — プレイモード1

ガイドランプに合わせて歌うだけで、ソングのメロディになります。
バルブを押さえる必要はありません。

1 ソングを選んで、PLAY MODE [1] ボタンを押します。



ガイドランプが光るタイミングで、一音一音区切るように歌います。

音を区切らずに歌うと、演奏音の高さが変わりにくい場合があります。そんなときはガイドランプが光るタイミングで、いずれかのバルブを押さえたり離したりすると、そのタイミングで音が切れます。

ソングをとめたいときは、もう一度PLAY MODE [1] ボタンを押します。

光るバルブを押さえて演奏しよう！ — プレイモード2

ソングに合わせてバルブを押さえるだけで、メロディになります。

歌う必要はありません。

どのバルブを押さえたらいいか、ガイドランプが赤く光って教えてくれます。

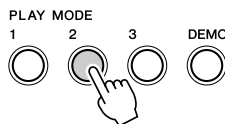
1 ソングを選んで、PLAY MODE [2]ボタンを押します。

赤く光ったバルブを押さえましょう。

正しいバルブを押さえるまで、ソングは進まず待っています。

ソングをとめたいときは、もう一度PLAY MODE

[2]ボタンを押します。



歌いながら、バルブも押さえて演奏しよう — プレイモード3

歌いながら、プレイモード2で覚えた指づかいで演奏しましょう。

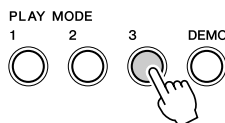
1 ソングを選んで、PLAY MODE [3]ボタンを押します。

本番さながらに伴奏がすすみます。

歌いながら、バルブを押さえて演奏しましょう。

ソングをとめたいときは、もう一度PLAY MODE

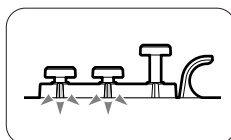
[3]ボタンを押します。



●ガイドランプの光り方をえらぶ

ガイドランプはソングを鳴らしているあいだ光ります。

初期設定 (Aut) では、プレイモード1のときはメロディの発音タイミング、それ以外のときは押さえるバルブを光で教えてくれます。この設定を変えたいときは、以下の操作を行ないます。



1 設定ボタンを押して、下側のランプを点灯させます。

2 [TEMPO]ボタンを押して点灯させます。

3 [TEMPO]ボタンを押しながら、[-]、[+]ボタンを押してガイドランプのタイプを選びます。

Aut プレイモード1のときはメロディの発音タイミング、それ以外のときは押さえるバルブを光で教えてくれます。

F 押さえるバルブを光で教えてくれます。

t メロディの発音タイミングに合わせて光ります。


b ソングの拍子に合わせて光ります。

L マイクボリュームを設定するとき選びます(15ページ)。

oFF ガイドランプは光りません。


ソングのテンポを変えてみよう

ソングのテンポが速すぎるときは、テンポを遅くして演奏することもできます。

- 1**  ボタンを押して、下側のランプを点灯させます。
- 2** [TEMPO] ボタンを押します。
- 3** [-]、[+] ボタンを押して、テンポを設定します。
[-]を押すとテンポは遅く、[+]を押すとテンポは速くなります。
[-]、[+] ボタンを同時に押すと、ソング本来のテンポに戻ります。

ソングの音の高さ(キー)を変えてみよう

EZ-TP で鳴らすソングのキーを半音単位で設定します。
たとえばコンピューターから読み込んだソングデータのキーが高すぎて歌えない場合など、ソングのキーが合うようになります。


- 1**  ボタンを押して、下側のランプを点灯させます。
- 2** [KEY] ボタンを押します。
- 3** [-]、[+] ボタンを押して、ソングのキーを設定します。
設定範囲：-12～+12。
[-]、[+] ボタンを同時に押すと、ソング本来のキーに戻ります。

NOTE ・自分が歌って演奏するキーの変更は、17ページをご参照ください。

音量バランスを変えてみよう

自分の演奏とソングの音量バランスを設定します。ここで実際に設定するのはソング音量です。

設定範囲：0～150%のあいだで、5%単位で設定できます。初期値は100%です。

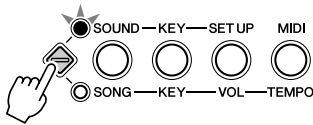
- 1**  ボタンを押して、下側のランプを点灯させます。
- 2** [VOL] ボタンを押します。
- 3** [-]、[+] ボタンを押して、ソングの音量を設定します。

ベロシティカーブの選択

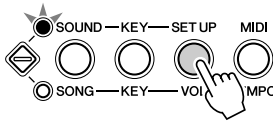
声量に応じて、演奏音量にメリハリをつけたいときなどに設定します。

感度は5段階あります。声の大きい人は-2か-1、声の小さい人は1か2に設定することをおすすめします。

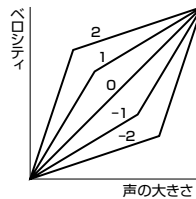
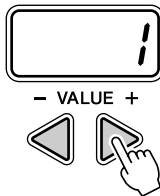
1 ⇐ ボタンを押して、上側のランプを点灯させます。



2 [SET UP] ボタンを押します。



3 [-]、[+] ボタンを押して入力感度を設定します。



バックアップデータと初期化の方法

バックアップデータ

EZ-TP の設定は、電源を入れ直すとそれぞれの初期設定値に戻りますが、下記の設定データは、電源を切ってもバックアップされています。

- ・演奏音のキー設定 (B \flat 、C、E \flat 、Fのみ) 17ページ
- ・声の高さに合わせた設定 14ページ
- ・コンピューターから読み込んだソングデータ 29ページ

初期化の方法

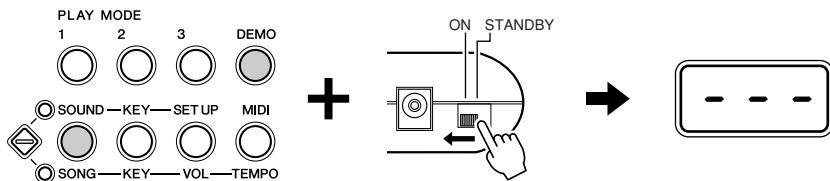
EZ-TP 内のバックアップデータや、コンピューターから読み込んだソングデータを消去し、設定を初期設定 (工場出荷時の状態) に戻すことを「初期化」と呼びます。



・初期化すると、コンピューターから読み込んだソングデータも消去されます。

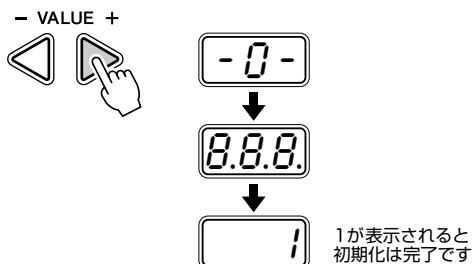
1 [SOUND]/[SONG]ボタンと[DEMO]ボタンを同時に押しながら、電源を入れます。

初期化をキャンセルするときは、[-] ボタンを押します。



2 [+] ボタンを押します。

初期化が実行されます。



MIDI機器の接続

EZ-TPにはMIDI端子がついています。MIDI機能の活用により音楽の幅を広げることができます。

NOTE ・EZ-TPからソングデータは送信できません。

MIDIって何？

MIDI(ミディ)とは、電子楽器間で演奏情報のやりとりをすることができる世界共通の規格です。

MIDI端子のある電子楽器同士をMIDIケーブルを使ってつなげることで、楽器間のさまざまな演奏情報や設定情報などの送受信ができ、より高度な演奏が可能になります。



EZ-TPのMIDI端子：EZ-TPとほかのMIDI機器とのあいだで、MIDI信号を送信/受信します。EZ-TPのMIDI端子は、送信と受信を兼ねる特殊な形ですので、必ず付属のMIDIケーブルを接続してお使いください。

- NOTE**
- ・MIDI機器の接続には、専用のMIDIケーブル(別売)が必要です。楽器店などで買い求めください。
 - ・長いケーブルを使用すると、送受信のエラーが起こる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。



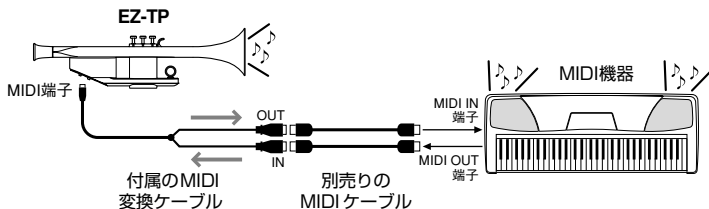
- ・外部機器を接続する場合は、EZ-TPの電源を切った状態で接続してください。その後、「外部機器→EZ-TP」の順に電源を入れてください。

MIDIでできること

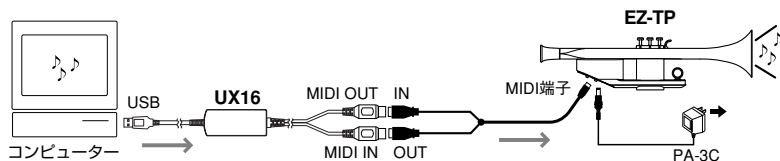
EZ-TPのMIDI機能を活用すれば、他のMIDI機器との演奏情報のやりとりや、コンピューターを使ってソングを読み込むことができます。

ソングデータは送信できません。

●他のMIDI機器と接続して演奏情報を送受信します。



●コンピュータからEZ-TPにソングを読み込むことができます。

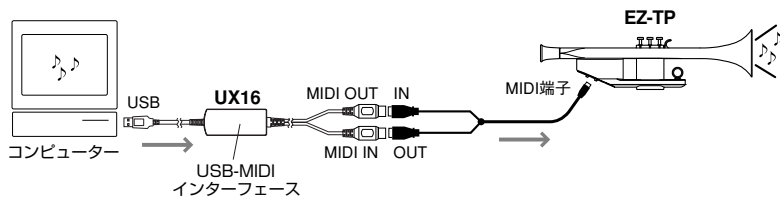


NOTE ・ Song Filerでソングデータを読み込むときは必ず電源アダプターを使用してください。

コンピューターと接続してみよう

コンピューターとEZ-TPを接続することにより、EZ-TPの演奏情報をコンピューターで活用したり、コンピューターから演奏情報を受信してEZ-TPで鳴らすことができます。

USB端子付きのコンピューターとEZ-TPのMIDI端子を接続する場合は、ヤマハUX16などの「USB-MIDIインターフェース」が必要になります。



NOTE ・ コンピューターとの接続にはUX16(別売)のようなMIDIインターフェースが必要です。楽器店などでお買い求めください。
・ UX16を使用するときは、UX16に付属のドライバーをコンピューターにインストールしてください。

EZ-TPにソングを読み込む

EZ-TPは、ソング(P 1～P21)を内蔵していますが、そのほかにコンピューターからソングデータを受信し、その曲をソングとして鳴らしたり、演奏したりすることができます。

この操作をするためには、下記ヤマハURLから「Song Filer」をダウンロードし(アプリケーションは無料)、ご使用のコンピューターにインストールする必要があります。

●コンピューターから受信できる内容

- ・ ソング量 : 最大99ソング(ソング番号F 1～)
- ・ データ量 : 992Kbytes
- ・ データフォーマット : SMF Format 0

たとえば100Kbytesのソングの場合は、EZ-TPに9ソング保存できます。

ソングファイラー

■Song Filerをインストールする

コンピューターを使用し、インターネット上の以下のURLからSong Filerをダウンロードします。

<http://www.yamaha.co.jp/download/songfiler/index.html>

●Song Filerを使用するために必要なコンピューターシステム

[Windows]

- OS : Windows 95/98/Me/2000/XP
- CPU : Pentium/100MHz以上
- メモリー : 8MB以上
- ハードディスク空き容量 : 2MB以上
- ディスプレイ : 800 × 600、256色以上

[Macintosh]

- OS : Mac OS 7.5～9.2.2(OS Xには対応していません)
- CPU : Power PC以上
- メモリー : 8MB以上
- ハードディスク空き容量 : 2MB以上
- ディスプレイ : 800 × 600、256色以上

NOTE

- ・ 上記URLへ接続していただくと、Song Filerの最新バージョンが入手できます。また、インストールの方法もご案内してあります。バージョンは2.0.0以上をご使用ください。

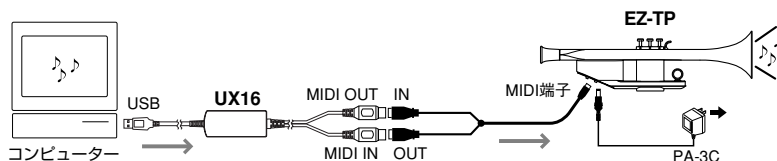
■Song Filerを使ってみよう

Song Filerをコンピュータにインストールしたあと、EZ-TPとコンピュータを以下のように接続します。

Song Filerの使用方法は、Song Filerについている説明ファイル(PDF)をご参照ください。

●コンピュータからデータを読み込む

EZ-TPへソングデータを読み込みます。読み込んだデータは、内蔵ソング1番の前に保存されます。(20ページ参照) 使用できるソングデータは“SMF Format 0”のデータです。



EZ-TPからコンピュータにソングデータを読み込むことはできません。

- ❗ ・ EZ-TPを乾電池で使用している場合は、Song Filerは使用できません。Song Filerを使ってコンピュータからEZ-TPにソングを読み込む場合は、必ず付属の電源アダプターを接続してください。
- ⊘ ・ データ送信中は電源を切らないでください。送信中のデータが保存されないだけでなく、メモリーの動作が不安定になり、メモリー内容が電源オン/オフ時にすべて消える可能性があります。
- ❗ ・ 保存したデータは、故障や誤操作のために失われることがあります。大切なデータはコンピュータ側に保存しておきましょう。

NOTE

- ・ ロードしたソングのチャンネル1のサウンドはEZ-TPで設定しているサウンドで鳴ります。またガイドランプも通常はチャンネル1のデータで点灯します。

●コンピュータから読み込んだ、EZ-TP本体内のソングファイルを消す

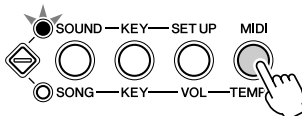
削除方法はSong Filerについている説明ファイルをご参照ください。

送信チャンネルを設定する

演奏データをMIDIのどのチャンネルで送信するかを設定します。
off、1～16チャンネルを設定できます。

1  ボタンを押して、上側のランプを点灯させます。

2 [MIDI] ボタンを押します。



3 [-]、[+] ボタンを押してoff、C1～C16チャンネルを選びます。
offにすると演奏データは送信されません。

ローカルコントロール オン/オフを設定する

ローカルコントロールの設定とは、EZ-TPで演奏した音をEZ-TPの内部音源で鳴らすか鳴らさないかの設定をすることです。

オン (on) : EZ-TPの演奏は通常どおり、EZ-TPから発音されます。またソング以外の演奏情報はMIDI出力されます。

オフ (off) : 演奏してもEZ-TPからは音が出ません。このとき演奏データはMIDIから出力されていますので、外部の音源で音を出します。

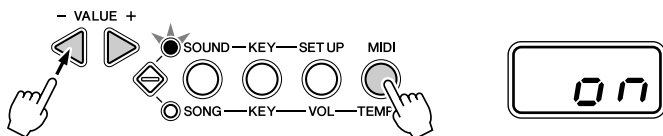
EZC (EZC) : 演奏してもEZ-TPからは音がでません。将来の拡張用の設定です。

初期設定はonです。

1  ボタンを押して、上側のランプを点灯させます。

2 [MIDI] ボタンを押して点灯させます。

3 [MIDI] ボタンを押し続けたまま[-]、[+] ボタンでoff/onを選びます。



NOTE ・ ローカルコントロールを「オフ」や「EZC」にすると、オンにするまで音が鳴らなくなりますのでご注意ください。

楽器のお手入れ

以下の説明をよく読んで、正しいお手入れを行ない、いつも清潔な状態で使用しましょう。

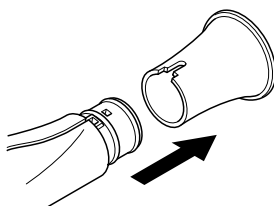
●マウスピース

湿気や汚れがたまりますので、汚れが気になったときは水洗いをして、乾いた柔らかい布、もしくは固く水気を絞った柔らかい布で水気を拭きとってください。



・マウスピースをお手入れするときは、本体からはずしてください。

マウスピースのはずし方

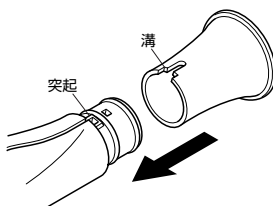


マウスピースを回さずに、まっすぐ引きます。



・マウスピースを回すと、本体の突起が破損するおそれがあります。必ずまっすぐに引いてください。

マウスピースの取り付け方



本体の裏側の突起にマウスピースの溝を合わせ、カチッと音がするまで押し込みます。



・取り付けるときは、指をはさまないようご注意ください。

●本体

汚れが気になったときは、乾いた柔らかい布、もしくは固く水気を絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。



・マウスピース以外の本体には電子部品が組み込まれていますので、絶対に水洗いをしないでください。正常に作動しなくなるおそれがあります。

故障かな？と思ったら

現象	原因と解決方法
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">・ 電池が消耗していませんか？ (6ページ)・ マスターボリュームが下がっていませんか？ (11ページ)・ PHONES/OUTPUT端子にヘッドフォンなどを差し込んでいませんか？ (7ページ)・ ローカルコントロールの設定がオフまたはEZCになっていませんか？設定をオンにしてください。 (31ページ)
思ったとおりの高さの音が出ない	声の高さに合わせてオクターブ設定していますか？ (14ページ)
歌って演奏するとき、うまく演奏できない。	<ul style="list-style-type: none">・ マウスピースに密着して歌っていますか？密着させて歌ってください。・ 「あ～」、「た～」など声の出し方を変えて演奏してみてください(楽器が認識しやすい声には個人差がありますので、出す声を変えてみてください)。・ マイクボリュームを調節してみてください。 (15ページ)
歌っていないのに音が出る	まわりの雑音を拾っていませんか？ マイクボリュームのつまみを左側に回してください。 (15ページ)
雑音が出る	携帯電話がそばにありませんか？携帯電話の電源を切るかEZ-TPから離してください。
音がひずむ	マスターボリュームが上がりすぎていませんか？特に外部から読み込んだソングはマスターボリュームを下げないとひずむ場合があります。マスターボリュームを下げてください。
ソングファイラーを使用して、コンピューターからデータを読み込めない	電源アダプターを使用してください。 (29ページ)

メッセージリスト

表示	メッセージ内容
E 1	MIDIデータ受信エラーです。
E 2	MIDIバッファフルエラーです。
E 3	MIDIチェックサムエラーです。
E 4	MIDIデバイス番号エラーです。
E 10	ファイルオープンエラーです。
E 11	SMFでないソングデータを選びました。
E 12	SMFヘッダーレングスエラーです。
E 13	SMFフォーマット0でないソングデータを選びました。
E 14	対応していない分解能のタイプのソングデータを選びました。
E 15	対応していない分解能の値のソングデータを選びました。
E 16	トラックデータがないソングデータを選びました。
E 17	ランニングステータスを読み込んでいない状態で、データバイトを読み込んだ場合などで、SMFデータにエラーがありました。
E 18	再生中にデータの読み込みに失敗しました。

サウンドリスト

●最大同時発音数について

この楽器の最大同時発音数は32音です。演奏中に同時に鳴っているソングの音なども合わせて32音ということです。

NOTE

- ・MIDIを使ってこの楽器のサウンドを鳴らす場合は、MIDIプログラムチェンジNo. を使用してください。
- ・プログラムチェンジを0～127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo.から1を引いた数で指定します。たとえば、No. 57のプログラムチェンジを指定する場合は、56の値になります。

サウンド No.	MSB (0-127)	LSB (0-127)	MIDIプログラムチェンジ No.(1-128)	サウンド名
1	0	112	57	スイートトランペット
2	0	114	57	ハードトランペット
3	0	113	57	ソフトトランペット
4	0	0	57	トランペット
5	0	112	60	スイートミュートトランペット
6	0	113	60	ミュートトランペット
7	0	112	82	シンセトランペット
8	0	112	62	プラスセクション
9	0	113	62	トランペットプラス
10	0	113	67	トランペットとサックスアンサンブル
11	0	114	60	ミュートトランペットアンサンブル
12	0	0	58	トロンボーン
13	0	112	61	ホルン
14	0	0	59	チューバ
15	0	112	65	スイートソプラノサックス
16	0	0	74	フルート
17	0	0	72	クラリネット
18	0	0	76	バンフルート
19	0	112	78	尺八
20	0	0	53	ヒューマンボイス
21	0	0	49	ストリングス
22	0	0	69	オーボエ



MIDI インプリメンテーションチャート

YAMAHA

[EZ-TP]

Model EZ-TP MIDI Implementation Chart

Date : 11-MAY-2004

Version : 1.0

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	1 1 - 16	1 - 16 1 - 16	
Mode Default Messages Altered	x x *****	x 3, 4 (m=1) x *2	
Note Number : True voice	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
Velocity Note ON Note OFF	o 9nH, v=1-127 o 8nH, v=1-127	o 9nH, v=1-127 x	
After Touch Key's Ch's	x x	o *1 o *1	
Pitch Bend	o	o 0-24 semi *1	
0, 32 1, 5, 7, 10, 11 6, 38 64-67 71-74	o o (7) x o (64, 66) x	o *1 o *1 o *1 o *1 o *1	Bank Select Data Entry Sound Controller

Control 84 91, 93, 94 Change 96-97 98-99 100-101	x x x x x			*1 *1 *1 *1 *1	Portamento Cntrl Effect Depth RPN Inc, Dec NRPN LSB, MSB RPN LSB, MSB
Prog Change : True #	o o - 127 *****				
System Exclusive	x				
Common : Song Pos. : Song Sel. : Tune	x x x				
System : Clock Real Time: Commands	x x				
Aux : All Sound OFF : Reset All Cntrls : Local ON/OFF : All Notes OFF Mes- : Active Sense sages: Reset	o (120) x x o (123) o x				

*1 receive if switch is on.
*2 m is always treated as "1" regardless of its value.
Mode 1 : OMNI ON , POLY Mode 2 : OMNI ON , MONO
Mode 3 : OMNI OFF, POLY Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
x : No



MIDIデータフォーマット

1. 16チャンネルのマルチティンバー音源として機能します。受信データは自分で演奏するサウンドや設定に影響を与えません。

ただし、以下のMIDIメッセージは内部のサウンド、ソングに影響します。

- ・ MIDIマスターチューニング
- ・ MIDIマスターボリューム

2. エクスクルーシブ

<GMシステムオン>

FOH, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H

- ・ MIDIマスターチューニングを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻します。

<MIDIマスターボリューム>

FOH, 7FH, 7FH, 04H, 01H, 11H, mmH, F7H

- ・ 全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)
- ・ mmHの値をMIDIマスターボリューム値として使用します。(11Hは無視)

<MIDIマスターチューニング>

FOH, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, 00H, mmH, 11H, ccH, F7H

- ・ 全チャンネルのチューニングを一度に変えるメッセージです。
- ・ mmH, 11Hの値をマスターチューニング値として使用します。
- ・ mmH, 11Hのデフォルト値は08H, 00Hです。またccHの値は任意です。

<XG SYSTEM ON>

FOH, 43H, 1nH, 4CH, 00H, 00H, 7EH, 00H, F7H

3. ソング演奏はMIDI送信しません。

仕様一覧



入力方式

音声入力+バルブ操作

サウンド(音色)

22

ソング(SONG)

21曲

(その他、別売りのMIDIインターフェースを使用してコンピューターから内部メモリにソングデータを受信し保存可能、992Kbytes)

同時発音数

32

ディスプレイ

7seg3桁LED、バルブLED

コントロール

PLAY MODE [1], [2], [3]ボタン、[DEMO]ボタン、[SOUND]/[SONG]ボタン、[KEY]ボタン、[SET UP]/[VOL]ボタン、[MIDI]/[TEMPO]ボタン、切り替えボタン、VALUE [-]ボタン、VALUE [+]ボタン、マスターボリューム、マイクボリューム

プレイモード

3種類 (歌って演奏・バルブを押さえて演奏・歌いながらバルブを押さえて演奏)

管タイプ選択機能

B♭管、C管、E♭管、F管、Fr1、Fr2への調性切り替え

その他の機能

ソングトランスポーズ機能、ビートランブ機能、チューニング機能、入力感度調整、ピッチ検出時間設定、ソングバランス音量調整、オクターブ設定、MIDIローカルコントロールオンオフ、テンボ機能

付属端子

MIDI IN/OUT(専用ケーブル)端子、PHONES/OUTPUT(ミニステレオジャック)端子、DC IN12V端子

アンプ実用最大出力

2.5W

PHONES/OUTPUT

出力インピーダンス：68Ω

スピーカー

8cm×1

電源

アダプター：PA-3C
電池：単3乾電池(1.5V)×4、アルカリ電池を推奨

電池寿命

アルカリ電池で3.5時間

消費電力

アダプター PA-3C使用時：9.5W

寸法(巾×高×奥 mm)

556×159×125

質量(乾電池含まず)

0.8Kg

付属品

電源アダプター PA-3C、ソングブック、MIDI変換ケーブル、保証書

オプション

・USB-MIDIインターフェース：UX16
・ヘッドフォン：HPE-30

※仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫 3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7(株)ヤマハミュージック神戸 高松店內	TEL (087) 822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
【本社】CSセンター	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL (053) 465-1158

◆ ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

クラブノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL 053-460-5272
● 受付日 月曜日～土曜日（日・祝日およびセンターの休業日を除く）
● 受付時間 10:30～19:00
● <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

国内楽器営業本部

EM営業部 企画推進室 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5476

PA・DMI 事業部

EKB営業部 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL (053) 460-3275

※名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

◆ インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>
- ・ヤマハマニュアルライブラリー <http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>
- ・「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」
ミュージックイークラブ・ドットコム <http://www.music-eclub.com/>
- ・ポータブル楽器のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>
- ・よくあるご質問 (Q&A/FAQ) <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation

© 2004 Yamaha Corporation

ヤマハ株式会社

WB94710

C0
???PO???-03
Printed in Malaysia